

目次 RESEARCH IN EXERCISE EPIDEMIOLOGY Vol.16 No.2

巻頭言	エビデンスと地域性を融合したガイドライン作成・普及の試み 岡田 真平（公益財団法人身体教育医学研究所，東京医科大学公衆衛生学分野）	
総説	Increasing Global Research Capacity in Physical Activity for Children and Youth 71 Peter T. Katzmarzyk（Pennington Biomedical Research Center） 理学療法領域における身体活動研究の動向 76 野村 卓生（関西福祉科学大学保健医療学部リハビリテーション学科）	
原著	膝痛緩和のための非対面通信型運動介入プログラムの実用性と有用性： ランダム化比較試験 83 畑山 知子（南山大学人文学部）他	
資料	健康増進のための身体活動に関する政策監査ツール（HEPA PAT）の紹介 92 種田 行男（中京大学工学部）他	
連載	日本の運動疫学コホート（7） 久山町研究 111 岸本 裕歩（九州大学大学院医学研究院環境医学分野）他	
インフォメーション	日本運動疫学会会員・賛助会員募集のご案内 115 「運動疫学研究」投稿規定 116	
編集後記	小熊 祐子	